

業種	タクシー
業種に含まれる事業	タクシー
主用途	タクシー営業
平均走行距離 (稼働日のみ)	186.3~192.1km/日
平均走行距離 (モニター期間全体)	186.3~192.1km/日
最長走行距離	300.0~302.0km/日
走行時間帯	毎日10時~27時
利用傾向	<ul style="list-style-type: none"> 電話呼び出しに応じる営業形態で、島内隅々まで行き来しているとともに、運行時間も長く、平均走行距離（稼働日のみ）は186.3~192.1kmである。 観光繁忙期における日あたりの最長走行距離は、300kmを超え、本実証実験でタクシー事業者が利用しているリーフ2016年型の航続距離を超える。 日常的な利用では、送迎が終わり営業所に戻った都度充電をしているが、営業時間中盤から終盤にかけては、普通充電による充電では賄いきれず、他の車両で代替することもある。
年間燃料節減費	831,800円~872,900円
ガソリン車との トータルコスト比較	<p>【条件】 乗用車セダンタイプ 平均走行距離（モニター期間全体）：200km（年間走行距離 73,000km）</p> <p>乗用車セダン 日走行距離 200 km</p> <p>Y軸: トータルコスト(万円) X軸: 購入時, 1年, 2年, 3年, 4年, 5年</p> <p>Legend: — GS車費用 — EV(燃料費のみ) - - - EV (+補助金) . . . EV (+補助金+減税) </p>
	<p>【コストメリットを享受するための使用期間】 補助金や減税を活用した場合で1年目に、補助金や減税を活用しない場合でも2年目に、トータルコストが逆転する。</p>
適応EV車種	<p>乗用車セダンタイプ（例：リーフ）</p> <p>タクシー営業に利用するため、航続距離が長い乗用車セダンタイプが適している。</p>
課題	繁忙期を中心に普通充電による継ぎ足し充電では賄いきれず、急速充電ニーズがあるが、整備費用が高額であり、事業者単独では整備が難しい。